

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.21
令和3年12月7日
文責：校長 松野克己

倉田哲也さん人権学習

11月26日(金)に倉田哲也さんをお招きして人権教室を行いました。倉田哲也さんは、出生時にへその緒が首に巻き付いていたため脳性麻痺になりました。手が不自由ですが、身の周りの生活全般を手の代わりに足で行なっておられます。日本で初めて足で運転する車の免許を取得。現在は、社会福祉法人「くまもと障がい者労働センター・おれんじ村」代表をされています。また、自身の体験や障がい者問題、さまざまな人権問題をテーマに、おとなから子どもまでのあらゆる世代を対象に日本各地で講演されています。佐志小学校には、2006年の人権フェスタで保護者対象の講演会を行なっておられます。

今回、次のような設定とテーマでお話をいただきました。

2校時 1, 2, 3年生 演題：「であい、ふれあい、わかりあい」～伝えたい大切なメッセージ～

3校時 4, 5年生 演題：「周りとの違いを恥ずかしがらないで」～伝えたい大切なメッセージ～

1, 2, 3年生の人権学習では、はじめに、倉田さんが電動車いすに乗ったまま子どもたちに近づいていきました。「この車いすに乗ってみませんか？」という倉田さんの問いかけに、子どもたちは戸惑い、なかなか手が挙がりませんでした。しかし、そのうち一人の子が手を挙げ、倉田さんの膝の上に座ると、倉田さんはその子を電動車いすに乗せたまま体育館を一周しました。その後は、「ぼくも、私も。」という感じで希望者が続きました。

場が和んだ後で、倉田さんは自分の生い立ちや、普段の生活の中で足を使って行っていること（買い物、缶ジュースのふたをあげる、食事など）を動画で見せられました。最初は、車いすに乗って不自由な体つきの倉田さんを見て戸惑っていた子どもたちも、その様子を見て驚きの声をあげました。



倉田さんは、「皆さんはいつから手でいろいろなことができるようになったか覚えていますか？覚えていませんよね。それと同じように、私もいつの間にか足でいろいろできるようになったんですよ。」とおっしゃっていました。また、「私はみなさんと同じような体になりたいとは思っていません。なぜなら、自分にしかできないようなことがいっぱいあるからです。」ともおっしゃっていました。その発言に驚く子がたくさんいました。

演題にあるように見た目で見えで偏見を持つことなく、「であい、ふれあい、わかりあい」をすることが大事なんだというメッセージを送られました。そして、みんな一人ひとりの命が大切なんだということを伝えるために、1-1から3-2までの全クラスの子どもの集合写真をパワーポイントで示されました。

4, 5, 6年生の人権学習では、低学年の学習の時と同様に、自分の生い立ちや、普段の生活の中で足を使って行っていること（買い物、缶ジュースのふたをあげる、食事など）を動画で見せられました。また、足で運転する車の免許を取得するまでのドキュメンタリーの動画も見ました。子どもたちは驚き、倉田さんのたくましさを感じているようでした。

また、3人の背の高さが違う人が野球場でフェンス越しに試合を見る場面を例に出し、「合理的配慮」の意味を子どもたちに考えさせる場面もありました。同じ数だけ椅子を与えるのではなく、必要な人に必要なだけ椅子を与えることが合理的配慮であることを教えてくださいました。また、「もし車いすの人がこのフェンスの前に来たらどうしたらいい？」と尋ねられました。答えは「フェンスを透明なシールド状のものにすること。」でした。

演題にもあるように、違いは個性である、周りとの違いを恥ずかしがらないでということをお伝えされた学習でした。また、障がい者差別をなくしたいということもおっしゃっていました。帰り際、1年2組さんの代表がクラスみんなの子が書いたお手紙を持ってきました。そして、直接倉田さんに渡していました。倉田さんも代表の子も笑顔で、いい雰囲気でした。(文：児童生徒支援教員 池田隆史)

3年生海の学習新聞ご覧ください

これまでも何度かお伝えしてきたように、3年生は総合的な学習の時間に、地域の海の学習を行っています。その成果をグループごとにテーマを決めて新聞にまとめました。児童玄関に掲示していましたが、ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。ある1年生が「お姉ちゃんの名前がない。」と私に訴えに来ました。よく気がつきましたね。きっと目を凝らして探したのでしょう。学校にない新聞は、今、佐志公民館に掲示してもらって、地域の方に見てもらっています。機会がありましたら、ぜひご覧ください。



唐津市相撲大会表彰



前号でお知らせした唐津市小中学校相撲大会の表彰を校長室で行いました。いろんなコンクールや大会の結果は、従来、全校朝会の時に体育館で伝え、表彰も行っていましたが、知らせるのは放送で、表彰は校長室でというのが定番となってきました。もちろん、コロナの影響です。ここ20日間ほど、佐賀県は感染者ゼロなので、3学期からは、体育館での集合に戻すことを考えていましたが、オミクロン株という新種の拡大が懸念されており、他県ではワクチン接種していたにもかかわらず、クラスターも発生しています。まだ元に戻すのは難しそうです。

英語力アップ研修会



ご存じのように、小学校高学年では昨年度から英語の授業を行っています。それに伴って中学年から外国語活動が始まっています。まず中学年で話したり聞いたりすることで英語に慣れ親しみ、高学年ではそれに書いたり読んだりすることが入ってきて、英語によるコミュニケーション力を高めていきます。これまで教えていなかった英語の授業を担当が行うわけですから、教える教師も勉強しなくてはなりません。

11月30日(火)に本校の加山先生と榎先生が、約25名の県内各地の先生方に授業を公開しました。内容は児童がそれぞれの校内でのお気に入りの場所を決めて「Go straight(まっすぐ)」とか「Turn left(左に曲がる)」といった表現を使って、相手に道案内をするとい

うものです。先入観や抵抗のない子どもたちは、楽しそうに英語でのやりとりを楽しんでいましたし、お互いに教え合うような姿も見られました。

また、この授業では写真のように一人ずつ配られたタブレットを利用し、お気に入りの場所の写真を見せ合って、なぜ気に入っているかという理由も伝え合っていました。AIやICTがどんどん進化していく世の中をこれから生きていく子供たち……。学校での教育も進化することが求められているようです。

